

都会と田舎

昔、「都会と田舎、住むならどちらがよいか」というテーマで、国語の時間にディベートを行ったことがあります。中学1年生でした。ディベートをやると、都会に住むことのよいところもよくないところもわかります。田舎のよいところもよくないところもわかります。

ディベートでは、よいところをどんどん主張（しゅちょう）します。一方、よくないところに関しては、こうすることで改善できる、解決できるという方法などを提案したりします。

いずれにも、理由や根拠（こんきょ）が必要です。理由とは、そう考えるわけのことです。なぜ、どうして、そう考えたのかということです。話すときは、「私は、～と考えます。なぜなら、～だからです。」のような形になります。

根拠とは、誰が見ても明らかな事実やデータなどの証拠資料のことです。書かれている文や言葉、グラフや図表に示された数字、絵や写真に表されたものなどです。話すときには、「ここには、～と書かれてあります。このグラフからは、～だとわかります。そこから、私は、～だと考えます。」のようになります。

皆さんは、授業の時間や学級での話し合いのときに、自分の考えを相手に伝えるために、理由や根拠をつけていますか。理由や根拠がないと、相手は納得しません。すなわち、自分の考えが相手に伝わりません。

ということは、自分の考えをまとめるときには、理由や根拠を一緒に考えるということが必要になります。「都会の方がいいなあ」「なぜだ」「田舎よりもはるかに便利だ」「電車や地下鉄がある」「田舎がいいなあ」「なぜだろう」「自然が多い」「のんびりしている」

これからは、今まで以上に、理由や根拠を入れながら自分の考えを相手に伝えてください。そうすると、相手が納得し、理解してもらえるようになります。理由や根拠がないと、思いのほか、相手にはわかってもらえないものです。理由や根拠を考えることは、すなわち、思考力、考える力をアップさせることにつながります。また、話す力、説明する力もつけることができます。皆さんは、都会と田舎、どちらに住みたいですか。これは、意外とむずかしい問題です。